

日本社会心理学会  
第 61 回大会プログラム

学習院大学（Web 開催）

2020 年 11 月 7 日（土）・8 日（日）



## 開催にあたって

日本社会心理学会第 61 回大会のプログラムをお届けいたします。

今年の大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Web 上での開催という異例の形式になりました。そのため、このプログラムを手にとられて、例年との違いに驚かれる方も多いことでしょう。今大会の準備は学習院大学が担当いたしますが、現地開催ではないため、大学の所在地や地図、発表会場の配置図はプログラムには含まれていません。研究発表も、口頭発表とポスター発表の区別がなく、時間や部屋の割り振りもなく、単に領域別に並べただけのプログラムになっています。

本大会の内容に関しては、以下のページで具体的に記載いたしますが、Web 上での研究発表、大会準備委員会企画シンポジウム、ワークショップがあり、総会も行われます。これらには、オンデマンド方式のものリアルタイム配信方式のものがありますので、お間違いのないようお願いいたします。

Web 上の研究発表はオンデマンド方式で行われます。発表資料のファイルは Web 上に掲載され、大会参加者はそれを自由に閲覧して、質疑応答や討論を行うことができます。Web 上での掲載期間は、会期をはさんで 11 月 6 日から 13 日の 1 週間を予定しています。

大会準備委員会企画シンポジウムと会員の自主企画によるワークショップは、リアルタイムで行われますので、日程表に記載の時刻にオンラインでご参加ください。

総会もリアルタイムで行われます。日本社会心理学会の会員はどなたでも参加できます。

さまざまな制約のもとでの不慣れな形式の大会開催となりますが、質の高い研究成果が発表され、活発な討論がなされることを祈っております。

日本社会心理学会第 61 回大会準備委員会

委員長 外山 みどり

## 大会に関するご案内

### 1. Web 開催について

本大会は Web 開催となっています。研究発表, ワークショップ, 準備委員会企画シンポジウムを実施します。研究発表は口頭発表・ポスター発表の区別はありません。大会参加者は, 研究発表資料の閲覧, 発表者への質疑応答, ワークショップと準備委員会企画シンポジウムへの参加ができます。それぞれのアクセス方法につきましては, 大会ヘルプデスクよりメールにてご連絡します。

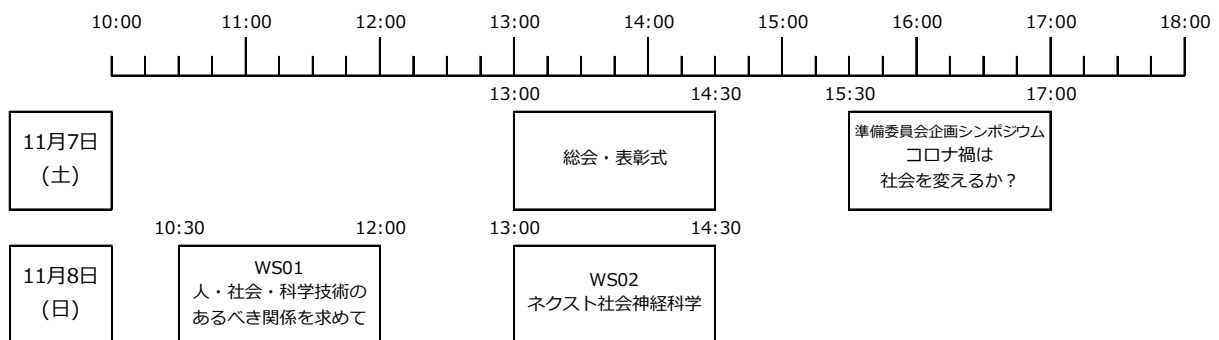
### 2. 諸費用

①大会参加費	正会員(一般)	9,000 円
	正会員(院生)	5,000 円
	準会員・学部学生	3,000 円
	臨時会員	10,000 円
	名誉会員	無料
②論文集購入費		6,000 円

※名誉会員の方は, 大会参加費・論文集購入費は無料です。

大会参加と論文集購入の申込は 10 月 30 日(金)[延長締切], 費用払込は 10 月 30 日(金)までです。  
当日参加の設定はありません。

### 3. 日程 (リアルタイム配信)



### 4. 総会・表彰式

1 日目の 13 時 00 分より, オンラインで開催します。学会会員は大会参加者でなくても参加することができます。アクセス方法等は日本社会心理学会より会員の皆様にメールでお知らせします。

## 5. 研究発表・質疑応答

発表者は本大会の Web 上に 11 月 6 日(金)から 11 月 13 日(金)まで発表資料を掲示します。大会参加者はこの期間中に質疑応答システムを介して発表者とやりとりすることができます。

アクセス方法は、大会ヘルプデスクより大会参加者の皆様にメールでお知らせします。

## 6. ワークショップ

2 日目の 10 時 30 分より 12 時 00 分まで、および 13 時 00 分より 14 時 30 分まで、オンラインで開催します。アクセス方法は、大会ヘルプデスクより大会参加者の皆様にメールでお知らせします。

## 7. 準備委員会企画シンポジウム

1 日目の 15 時 30 分より 17 時 00 分まで、オンラインで開催します。アクセス方法は、大会ヘルプデスクより大会参加者の皆様にメールでお知らせします。

## コロナ禍は社会を変えるか？

企画者： 日本社会心理学会第61回大会準備委員会

外山 みどり (学習院大学)

司会者： 伊藤 忠弘 (学習院大学)

話題提供者： 中谷内 一也 (同志社大学)

松井 豊 (筑波大学)

竹村 和久 (早稲田大学)

指定討論者： 平野 浩 (学習院大学)

### 概要

2020年初頭から始まり、急速に世界中に広まった新型コロナウイルス感染症は、社会のさまざまな側面に多大な影響を与えている。当初は、数か月で収束に向かうと予想され、短期間の不自由な生活を乗り越えれば、以前の状態に戻れるのではないかという希望的観測もあったものの、夏を過ぎ、秋になっても、世界の感染者数は減少に転ずることなく、日本国内でも、収束がいつになるか予測がつかない状況となっている。日本においては、欧米諸国のような厳しいロックダウンは免れたものの、外出の自粛や在宅勤務が呼びかけられ、対人間の距離をとること、密集しないこと、対面場面では大きな声で会話しないことなどが重要であるとされている。そしてこのような状況が一時的な緊急事態に終わるのではなく、ここで変化した行動パターンが、「新しい生活様式」として今後も継続し、定着する可能性が出てきている。

新型コロナウイルスへの対応は、人間の行動様式、職場での働き方や生産の方式、そしてさらには社会のあり方を変えるのであろうか？この状況では、1人1人の行動が社会全体の動向を左右するという側面と、国や地方自治体から出される指示や要請が個々人を規制するという側面の両方が存在し、まさに社会心理学の中心課題を集約しているということもできる。

このシンポジウムでは、新型コロナウイルス感染拡大に伴って、現在までに表面化し、顕在化した諸現象や諸問題を議論するとともに、今後も続く感染症への対応として、あるいは社会的な危機場面一般への対応として、どのような注意や考慮が必要かを検討することとしたい。

## 人・社会・科学技術のあるべき関係を求めて：ELSI 研究と社会心理学

企画者： 唐沢 かおり（東京大学）

司会者： 唐沢 かおり（東京大学）

話題提供者： 唐沢 かおり（東京大学）

濱田 志穂（JST・RISTEX 非会員）

小林 傳司（大阪大学 CO デザインセンター 非会員）

指定討論者： 浦 光博（追手門学院大学）

戸田山 和久（名古屋大学）

### 概要

科学技術の進展は人と社会のあり方に大きな影響を与えている。新しい知や恩恵をもたらし、豊かな社会を実現することに貢献してきた一方で、人類の歴史にとって不可逆的な破壊をもたらす可能性も論じられている。そのような中、ELSI（Ethical, Legal, and Social Issues）やRRI（Responsible Research and Innovation）というキーワードの元、学際的な議論を進める必要が、産・学・官の各レベルで認識され、研究プログラムが立ち上がり、また、そのことを専門的に論じる人材を育成する拠点も出来つつある。

人と社会との関係を論じてきた社会心理学は、このような動向に大きな貢献をなし得るポテンシャルを持ち、他分野からの期待も大きい。しかし、ELSI/RRI という言葉や概念が多く、社会心理学者にとってはなじみがない状況にあること、さらには、我々が持つ知見や方法論が、他分野との協働研究の中で健全に用いられる必要があることを踏まえると、ELSI/RRI とは何か、また、この概念を巡る議論の歴史や関連する動向について、社会心理学コミュニティが理解したうえで、議論を深める必要があるだろう。

本WSはそのような現状を踏まえ、ELSI/RRI を巡る学術的動向や「官・産」における動向、ELSI/RRI 研究に社会心理学が携わることで生まれる新たな展開、知見・方法論の用いられ方に関する問題点、企画者が関わるプログラムでの具体的なファンディングの可能性の紹介などを中心に、話題提供を行う。また、指定討論では、提示された論点について、批判的な検討を行う。これらを通して、社会心理学が「人・社会・科学技術のあるべき関係」に関する議論にどう関わり貢献していくのか、その可能性を探ってきたい。

本WSはJST RISTEX（国立発研究開発法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター）との共催のもとに行われる。

RISTEXは、21世紀の人類・社会が直面する問題に、自然科学と人文・社会科学の知識を活用して取り組む研究開発プログラムの推進をミッションとしている。詳しくは<https://www.jst.go.jp/ristex/>を参照。

## ネクスト社会神経科学：個と社会環境のダイナミクス

- 企画者： 高岸 治人 (玉川大学)  
塚本 早織 (愛知学院大学)
- 司会者： 塚本 早織 (愛知学院大学)
- 話題提供者： 赤石 れい (理化学研究所 非会員)  
西谷 正太 (福井大学 非会員)  
森口 佑介 (京都大学 非会員)
- 指定討論者： 結城 雅樹 (北海道大学)

### 概要

社会神経科学はヒトの社会性に関する生物学的な基盤 (脳や遺伝子の働き) を明らかにする学問であり、ここ 20 年の間で膨大な研究が蓄積されてきた。しかしながら、多くの研究は個が社会に対して示す認知や行動に焦点が当てられており、社会心理学者が重視してきた個と社会のダイナミクスについてはこれまでほとんど議論が交わされることがなかった。ヒトが示す社会行動は置かれた社会環境によってダイナミックに変動していき、そして、その社会行動は社会を再構成する。そのような個と社会のダイナミクスという視点にたった新しい社会神経科学を構築していくのが、社会心理学者としての責務であると考えらる。

そこで本ワークショップではその第一歩として、社会から個への関係性に注目する。3 名の新進気鋭の研究者の方々から社会環境がヒトの社会性にどのような影響を与えるのか社会神経科学的なアプローチを用いた研究を紹介していただく。その中で個と社会のダイナミクスを踏まえた次世代の社会神経科学の構築のために何が必要かを議論していくことを目的とした。

まず赤石れい氏には、採餌理論における探索 (Exploration) と深化 (Exploitation) の概念を取り入れた社会環境変動を伴った意思決定について脳機能ネットワークを調べた研究について報告してもらう。

続いて西谷正太氏には、社会環境によるヒトの社会性への影響について、近年注目されている DNA メチル化解析を用いた研究について報告してもらう。

さらに森口佑介氏には、子どもの認知機能と前頭葉機能の発達について、社会環境による影響を検討した研究について報告してもらう。

最後に、北海道大学の結城雅樹氏に、社会心理学者の立場から、個と社会環境のダイナミクスという視点に立った新しい社会神経科学に期待する点、そして注目すべき重要な問題について議論していただく。



## 01 Web発表

---

### 研究法・理論

- 101 いじめの長期的影響における“成長要因尺度”の項目検討  
一項目分析と項目反応理論による検討一 ○長田 真人 神戸大学
- 102 喫煙の30日経験に対する性別と年齢の相互作用効果モデル  
多項ロジスティック回帰分析の適用 ○三好 美浩 岐阜大学
- 103 Bad decision, irrationality, and rational choice :  
Introduction to irrational decision theory ○Kazuhisa Takemura Waseda University

## 02 Web発表

## 自己・パーソナリティ

- |     |   |                                    |  |
|-----|---|------------------------------------|--|
| 201 | 汎領域的なノンテクニカルスキルを測定する尺度<br>ICOACHU                     | ○藤本 学                              | 立命館大学  |
| 202 | Grit 尺度と社会的望ましき反応尺度の関係<br>Web 調査および質問紙調査による検討         | ○稲垣 勉<br>澤海 崇文<br>澄川 采加<br>相川 充    | 鹿児島大学・教育テスト研究センター (CRET)<br>流通経済大学・CRET<br>鹿児島大学・CRET<br>筑波大学・CRET |
| 203 | 自他への思いやりと対人適応感の関連性の検討                                 | ○宮川 裕基<br>谷口 淳一<br>新谷 優            | 追手門学院大学<br>帝塚山大学<br>法政大学   |
| 204 | ナルシシズムにおける誇大型・過敏型とその調整要因<br>—ソシオ・セクシャルオリエンテーションに着目して— | ○澤田 奈々実                            | 早稲田大学  |
| 205 | 友人関係における相互影響過程の検討                                     | ○宮前 奈央子<br>李 受珉<br>阿部 夏希<br>中島 健一郎 | 広島大学<br>広島大学・日本学術振興会<br>広島大学・日本学術振興会<br>広島大学・日本学術振興会               |
| 206 | 集団への所属意識とキャリア意識に対する自己肯定感<br>の効果                       | ○寺垣内 雅子<br>中島 健一郎                  | 広島大学<br>広島大学   |
| 207 | 人を「騙す」にはまず自分を「騙せ」<br>—自己欺瞞特性が外向性の他者評価に与える影響—          | ○上田 臯介<br>清河 幸子                    | 名古屋大学<br>名古屋大学   |
| 208 | 戦略的自己呈示に寄与する内的過程                                      | ○遠藤 健治                             | 青山学院大学   |
| 209 | アンチファン心理の構造<br>アンチファン態度とアンチファン行動の関連性                  | ○向居 暁                              | 県立広島大学   |
| 210 | Dark Triadが叱りの評価と対人的効果に及ぼす影響<br>教師と親の立場からの検討          | ○阿部 晋吾                             | 関西大学   |
| 211 | サイコパシー傾向におけるPDゲーム推移構造の比較<br>TFTと豹変戦略に関して              | ○安念 保昌<br>高橋 徹                     | 愛知みずほ大学<br>愛知みずほ大学   |
| 212 | 鉄道オタク青年の特性についての試論<br>自尊感情および対人関係との関連                  | ○岡田 努                              | 金沢大学   |
| 213 | ポジティブな「状況」に関する研究 (2)<br>状況の関係性分析を中心に                  | ○堀毛 一也<br>堀毛 裕子                    | 東洋大学<br>東北学院大学   |
| 214 | 幼児におけるモラルライセンシング効果の検討                                 | ○古川 善也<br>藤 翔平<br>杉村 伸一郎           | 広島大学<br>広島大学<br>広島大学   |
| 215 | 青年男女の化粧行動と自己愛人格傾向との関連性                                | ○平松 隆円                             | 東亜大学   |

## 03 Web発表

## 感情・動機

- |     |  |   |  |
|-----|--|---|--|
| 301 | 「お詫びの品」の贈呈は苦情対応に有効か<br>重量感と包装紙の色の違いが否定的感情の抑制に及ぼす影響 | ○池内 裕美  | 関西大学   |
| 302 | 柔らかいものに触れているとポジティブな自伝的記憶が想起されやすい                   | ○池田 利基<br>武田 裕司                                     | 筑波大学<br>産業技術総合研究所                                    |
| 303 | 主体性を高める遠隔授業のあり方についての探索<br>自己決定理論の視座からの解釈           | ○竹橋 洋毅<br>豊沢 純子<br>田中 里奈<br>尾崎 由佳                   | 奈良女子大学<br>大阪教育大学<br>東洋大学                             |
| 304 | タイムプレッシャーが道徳ジレンマ状況における判断に及ぼす効果                     | ○熊井 優日<br>左山 愛理<br>橋本 博文                            | 安田女子大学<br>安田女子大学<br>安田女子大学                           |
| 305 | 対面しない状況で感謝を表明することがもたらす効果                           | ○高本 真寛<br>中村 美祐希                                    | 横浜国立大学<br>横浜国立大学                                     |
| 306 | 成人において規範情報は遅延報酬の選択傾向をどのように変えるか                     | ○後藤 崇志  | 滋賀県立大学   |
| 307 | 関係流動性が成功状況での感情経験に影響するメカニズム<br>シグナリング仮説の検討          | ○前田 友吾<br>結城 雅樹                                     | 北海道大学<br>北海道大学                                       |
| 308 | 抑うつが思考抑制傾向と考え込み・気そらしの関係に及ぼす影響                      | ○服部 陽介  | 京都先端科学大学   |
| 309 | 母親におけるオキシトシンDNAメチル化と脳構造・共感性の関連                     | ○平岡 大樹<br>西谷 正太<br>島田 浩二<br>笠羽 涼子<br>藤澤 隆史<br>友田 明美 | 福井大学・日本学術振興会<br>福井大学<br>福井大学<br>福井大学<br>福井大学<br>福井大学 |
| 310 | 動機づけが「セルフコントロールと幸福感の関係」に及ぼす影響                      | ○間賀田 悠吾   | 大阪府立大学   |
| 311 | 児童期における知覚された共感と主体的・対話的な学びとの関連                      | ○小池 はるか   | 東海大学短期大学部  |

## 04 Web発表

## 認知・社会的認知

- |     |   |  |  |
|-----|---|--|--|
| 401 | 対面授業と遠隔授業で課題の取り組みに違いはあるのか<br>先延ばしの観点から                    | ○安達 未来<br>安達 啓介  | 大阪電気通信大学<br>神戸学院大学   |
| 402 | 曖昧性忌避とPANAS, 運認知の関連性と高校生の捉える幸運について                        | ○川角 公乃<br>依田 尚也  | 学習院大学<br>学習院大学   |
| 403 | 環境構造の因果モデルを持つことはいかなる利益をもたらすのか？：<br>モデルベース学習のシミュレーション研究    | ○渡辺 舜<br>竹澤 正哲   | 北海道大学<br>北海道大学   |
| 404 | 食の志向性と時間割引における衝動性   | ○石井 敬子   | 名古屋大学  |
| 405 | 緊急事態宣言下でもなぜ人は外出したのか                                       | ○新井田 恵美<br>樋口 収  | 東洋大学<br>明治大学   |
| 406 | 肯定事象の生起確率判断に無関連な肯定的行動が及ぼす影響                               | ○藤島 喜嗣<br>安達 澄乃<br>井上 萌恵美<br>尾田 遥<br>川寄 郁奈<br>久保 里奈<br>佐々木 愛花梨<br>杉下 亜弥香<br>林 朝子<br>本沢 みのり<br>渡邊 悠莉香 | 昭和女子大学<br>昭和女子大学<br>昭和女子大学<br>昭和女子大学<br>昭和女子大学<br>昭和女子大学<br>昭和女子大学<br>昭和女子大学<br>昭和女子大学<br>昭和女子大学<br>昭和女子大学 |
| 407 | 不老不死／輪廻転生の想像が時間割引に及ぼす影響                                   | ○加藤 樹里<br>柳澤 邦昭  | 金沢工業大学<br>京都大学   |
| 408 | 他者への身体所有感が共感的反応と利他行動に及ぼす影響                                | ○早川 美歩<br>玉井 颯一<br>溝川 藍  | 名古屋大学<br>高知工科大学<br>名古屋大学   |
| 409 | 世界の認知構造を符号化する神経表象<br>表象類似度解析による検証                         | ○柳澤 邦昭<br>中井 隆介<br>杉浦 仁美<br>八田 紘和<br>阿部 修士   | 京都大学<br>京都大学<br>近畿大学<br>京都大学<br>京都大学   |
| 410 | 新型コロナウイルスへの感染は不運か？  | ○村上 幸史   | 関西国際大学   |
| 411 | 日本人を対象とした選択的接触の生起過程の検討<br>認知的不協和と共有現実への脅威の知覚による媒介過程に着目して  | ○笠原 伊織<br>唐沢 穰   | 名古屋大学<br>名古屋大学   |
| 412 | Executive functions and community multiplexity            | ○Tasuku Igarashi<br>Taro Hirashima   | Nagoya University<br>Aichi Shukutoku University  |
| 413 | 要求という行為を曖昧にすることの意味 (2)<br>「要求意図についての認識」と「承諾行為についての解釈」との関係 | ○平川 真  | 広島大学   |

414 道德価値の一致による自動運転への信頼の効果

○横井 良典 同志社大学・日本学術振興会  
中谷内 一也 同志社大学

## 05 Web発表

## 対人認知・ステレオタイプ

- |     |   |  |                              |
|-----|---|--|------------------------------|
| 501 | パーソナリティ認知の過程 (9)<br>—個人差を生み出す要因—                                      | ○岩熊 史朗                                   | 駿河台大学                        |
| 502 | 他者の心理状態の推測におけるクリティカルシンキング<br>の有用性<br>能力と志向性の2つの側面に着目して                | ○矢澤 順根<br>古川 善也<br>中島 健一郎                | 広島大学<br>広島大学<br>広島大学         |
| 503 | 日常的なボランティアのジレンマ状況における対人認知   | ○ターン 有加里ジェシカ<br>橋本 剛明<br>唐沢 かおり          | 東京大学・日本学術振興会<br>東京大学<br>東京大学 |
| 504 | 日本における障害者への象徴的偏見を測定する尺度<br>の開発  | ○清水 佑輔<br>ターン 有加里ジェシカ<br>橋本 剛明<br>唐沢 かおり | 東京大学<br>東京大学<br>東京大学<br>東京大学 |
| 505 | 若年無業者（ニート）に対するステレオタイプ抑制方<br>略の検討                                      | ○田戸岡 好香<br>石井 国雄                         | 高崎経済大学<br>清泉女学院大学            |
| 506 | 潜在的ジェンダー職業ステレオタイプに及ぼす要因の<br>検討<br>～母親の就労状況と社会経済的状況より～                 | ○小林 知博                                   | 神戸女学院大学                      |
| 507 | オタクステレオタイプとオタクの実像との乖離<br>—半構造化インタビューによる検討—                            | ○田島 綾乃                                   | 関西学院大学                       |
| 508 | 性別による理系能力に関する評価基準の変移現象  | ○菅 さやか                                   | 慶應義塾大学                       |
| 509 | ヘルプマークは誰のためにあるか<br>当事者としての将来に思いを馳せることがヘルプマーク<br>に対する認識に及ぼす効果          | ○橋本 博文<br>前田 楓                           | 安田女子大学<br>安田女子大学             |
| 510 | インクルーシブ教育に対する消極的な認識を変える方<br>法<br>「誰もが当事者になり得る」という長期的な視点がもたら<br>す効果の検討 | ○前田 楓<br>橋本 博文<br>佐藤 剛介                  | 安田女子大学<br>安田女子大学<br>高知大学     |
| 511 | 「恋人がほしい」と思うことと恋人の有無へのステレオタ<br>イプ                                      | ○高田 咲季<br>後藤 崇志                          | 滋賀県立大学<br>滋賀県立大学             |
| 512 | オタクとはどんな人々なのか？ (4)<br>オタクの類型化の再考                                      | ○高田 治樹<br>菊地 学<br>尹 成秀                   | 医療創生大学<br>目白大学<br>帝京大学       |
| 513 | オタクとはどんな人々なのか？ (5)<br>オタク類型とオタクの種類との関連                                | ○菊地 学<br>高田 治樹<br>尹 成秀                   | 目白大学<br>医療創生大学<br>帝京大学       |
| 514 | オタクとはどんな人々なのか？ (6)<br>アタッチメント・スタイルによるオタク類型の予測                         | ○尹 成秀<br>高田 治樹<br>菊地 学                   | 帝京大学<br>医療創生大学<br>目白大学       |

## 06 Web発表

## 帰属・リスク認知

601	自動車交通場面における危険な状況の認識と他者への責任帰属	○加藤 仁	北陸学院大学
602	ナッジの開示は意思決定者に自由をもたらすか	○山田 歩	滋賀県立大学
603	土木バッシング意識のスケープゴートイング的側面からの検討	○田中 皓介	東京理科大学
604	包括的な因果認知傾向と責任判断 人、組織、AIがもたらした結果に対する原因と責任の知覚	○膳場 百合子 Maia Young	早稲田大学 カリフォルニア大学アーバイン校
605	Decision by Sampling モデルによる確率荷重関数の導出と推定	○清水 裕士	関西学院大学
606	メディアの利用と新型コロナウイルス感染症に関するリスク認知	○中川 由理	京都橘大学
607	緊急事態宣言発令直後のCOVID-19および福島県産食品へのリスク認知と行動 (1) —自己・他者の身体的健康に対するCOVID-19のリスク認知の規定因の検討—	○小森 めぐみ 武田 美亜 埴田 健司 高木 彩	淑徳大学 青山学院女子短期大学 東京未来大学 千葉工業大学
608	緊急事態宣言発令直後のCOVID-19および福島県産食品へのリスク認知と行動 (2) —COVID-19と社会生活に関するリスク認知の関連—	○武田 美亜 小森 めぐみ 埴田 健司 高木 彩	青山学院女子短期大学 淑徳大学 東京未来大学 千葉工業大学
609	緊急事態宣言発令直後のCOVID-19および福島県産食品へのリスク認知と行動 (3) —感染症脅威状況下における福島県産食品の評価—	○埴田 健司 小森 めぐみ 武田 美亜 高木 彩	東京未来大学 淑徳大学 青山学院女子短期大学 千葉工業大学
610	緊急事態宣言発令直後のCOVID-19および福島県産食品へのリスク認知と行動 (4) —個人の感染予防行動に関する検討—	○高木 彩 小森 めぐみ 武田 美亜 埴田 健司	千葉工業大学 淑徳大学 青山学院女子短期大学 東京未来大学
611	新型コロナ対策の有効性認知に関する公衆-専門家間比較 8種類の行動的対策を材料として	○中谷内 一也 横井 良典 柴田 侑秀 尾崎 拓	同志社大学 同志社大学・日本学術振興会 同志社大学 同志社大学
612	感染症予防行動と波及責任認知、集団内関係性認知との関連	○塩谷 尚正	梅花女子大学
613	無知のヴェールと段階的意思決定が高レベル放射性廃棄物地層処分立地の社会的受容に与える効果	○横山 実紀 大沼 進 土田 茜	北海道大学・日本学術振興会 北海道大学 北海道大学
614	高レベル放射性廃棄物地層処分の社会的受容を巡る分配的公正と手続き的公正の諸相	○大沼 進 横山 実紀 土田 茜	北海道大学 北海道大学・日本学術振興会 北海道大学

## 07 Web発表

## 態度・信念

- |     |  |                          |  |
|-----|--|--------------------------|--|
| 701 | “一生懸命にやってみるまで分からない”<br>情報としての努力を重視する実体理論者  | ○鈴木 啓太<br>村本 由紀子         | 東京大学・日本学術振興会<br>東京大学   |
| 702 | 社会に対する感情・態度とCOVID-19<br>—権威主義化は生じたのか—  | ○平野 浩                    | 学習院大学  |
| 703 | 変化への抵抗を生み出す諸要因の検討  | ○村山 綾<br>三浦 麻子           | 近畿大学<br>大阪大学   |
| 704 | 統計モデリングを用いた社会的価値志向性の測定   | ○水野 景子<br>清水 裕士          | 関西学院大学<br>関西学院大学   |
| 705 | 存在論的恐怖への対処に対する選択的反応の検討<br>—イギリスの大学生を対象にした検討—                                     | ○戸谷 彰宏<br>中島 健一郎         | 日本学術振興会<br>広島大学  |
| 706 | 異性愛者の大学生が持つレズビアン及びゲイ男性に対する偏見と他の集団に対する偏見との比較                                      | ○堀川 佑惟<br>岡 隆            | 日本大学<br>日本大学   |
| 707 | 電車内でのベビーカー利用に対する迷惑認知はベビーカー利用者の性別で異なるのか<br>敵意的性差別の調節効果とinfracommunicationの媒介効果の検討 | ○脇本 竜太郎                  | 明治大学   |
| 708 | 自己確証が態度変容に及ぼす影響  | ○今城 志保<br>藤村 直子<br>佐藤 裕子 | (株)リクルートマネジメントソリューションズ<br>(株)リクルートマネジメントソリューションズ<br>(株)リクルートマネジメントソリューションズ |
| 709 | 高校時代の運動部経験によるスポーツに対するイメージの違い<br>大学新入生対象調査より                                      | ○大橋 恵<br>井梅 由美子<br>藤後 悦子 | 東京未来大学<br>東京未来大学<br>東京未来大学   |
| 710 | 清浄志向／穢れ忌避傾向としぜん主義がAI受容に及ぼす影響<br>—一人為を嫌い、自然が一番—                                   | ○北村 英哉                   | 東洋大学   |
| 711 | 認知的脆弱性が抑うつ症状に及ぼす影響<br>—ストレスフルイベントを含めたモデルの検討—                                     | ○野間 紘久<br>重松 潤<br>中島 健一郎 | 広島大学<br>広島大学<br>広島大学   |



## 08 Web発表

## 対人的相互作用・対人的コミュニケーション

- |     |   |  |   |
|-----|---|--|---|
| 801 | 計算論モデリングを用いた社会的意思決定のメカニズムの検討  | ○田中 大貴<br>高岸 治人<br>松田 哲也                                     | 玉川大学・日本学術振興会<br>玉川大学<br>玉川大学  |
| 802 | 課題の相互依存性はモチベーションの伝染を生じさせるか  | ○上原 秀斗<br>池田 浩   | 九州大学<br>九州大学  |
| 803 | Universal cooperation beyond the rich-poor boundaries<br>Process of reducing socioeconomic inequality in dynamic networks | ○Jiayu Chen<br>Tasuku Igarashi                               | Nagoya University<br>Nagoya University                                |
| 804 | どのような対人戦略が互恵的ネットワークの保持に繋がるか<br>—ゲーム理論の代表的な戦略を適用した検討—  | ○神原 歩  | 京都先端科学大学  |
| 805 | Strangersとの最小相互作用が促進する心理的適応   | ○石黒 格  | 立教大学  |
| 806 | ユーモアコーピングとWell-being及び年収との関連における地域性の検討<br>埼玉・千葉・神奈川・京都・大阪・兵庫を対象とした比較  | ○本郷 亜維子  | 放送大学  |
| 807 | 青年期の共同体感覚と内的作業モデル、主観的幸福感との関連  | ○吉武 久美子<br>浦川 麻緒里<br>吉田 阿海                                   | 長崎純心大学<br>長崎純心大学<br>長崎純心大学  |
| 808 | 感謝表現としての「ありがとう」と「すみません」が喚起する感情の違い   | ○尾関 美喜   | 岡山大学  |
| 809 | 青年の日常生活における欺瞞性認知の生起要因   | ○村井 潤一郎<br>大工 泰裕   | 文京学院大学<br>大阪大学  |
| 810 | 実際の2者間会話における自発的な瞳孔拡張パターンの同期とその影響  | ○木村 昌紀<br>于 珊珊<br>吉井 章人<br>村瀬 健太郎<br>森岡 清訓<br>若松 祐佳<br>新里 美海 | 神戸女学院大学<br>富士通研究所<br>富士通研究所<br>富士通研究所<br>富士通研究所<br>神戸女学院大学<br>神戸女学院大学 |
| 811 | 他者のための嘘に対する評価の個人差<br>嘘をつくことに対する否定的認識と自己査定動機に着目して  | ○田口 恵也   | 名古屋大学   |
| 812 | 警戒すべきは上か下か<br>接近者の上下の位置がパーソナルスペースにおよぼす影響  | ○鈴木 公啓   | 東京未来大学  |

## 09 Web発表

## 援助・攻撃・社会的スキル

- |     |  |                                     |  |
|-----|--|-------------------------------------|--|
| 901 | 観客の制限によるホームゲーム×アウェイゲームへの影響<br>J1リーグの試合結果を手がかりに                 | ○安部 健太                              | 帝京大学   |
| 902 | 利益・コストの予期と援助要請<br>制御焦点理論に基づいた検討                                | ○池田 亜紗<br>磯崎 三喜年                    | 国際基督教大学<br>国際基督教大学                               |
| 903 | 被排斥経験がDark Tetradとネット荒らしとに及ぼす影響                                | ○増井 啓太                              | 追手門学院大学  |
| 904 | 重視する自己の領域の差異による魅力を感じ好む女性<br>の特徴                                | ○安達 悠子                              | 愛知大学   |
| 905 | 説得のためのコミュニケーション・スキルの開発 (3)<br>—説得のためのスキルと一般的コミュニケーション・スキルとの関連— | ○牧野 幸志                              | 摂南大学   |
| 906 | 表情と視線の可視化システムを用いた表情模倣トレーニング<br>SA 候補生を対象とした検討                  | ○谷田 林士<br>佐藤 みちる<br>長谷川 拓海<br>木村 惇希 | 大正大学<br>TIS長野(株)<br>キーウェアソリューションズ(株)<br>(株)ダイショー |

## 10 Web発表

## 身近な人間関係

- |      |   |  |   |
|------|---|--|---|
| 1001 | シャイな人の2度目の恋愛相手の選択に関する研究   | ○栗林 克匡   | 北星学園大学  |
| 1002 | 子を持つ成人における母親への甘えが幸福感と感謝に及ぼす効果<br>母親への甘え-拒絶尺度に基づく検討                | ○楠見 孝<br>西川 一二   | 京都大学<br>京都大学  |
| 1003 | 中学生の娘から母親への親密性と制御適合   | ○田淵 恵  | 安田女子大学  |
| 1004 | 母親は母娘関係をどのようにとらえているのか<br>娘と同居する母親を対象として                           | ○中山 満子   | 奈良女子大学  |
| 1005 | 家事における共同的動機と主観的幸福感  | ○宮崎 弦太<br>伊藤 雅月<br>木田 万柚子<br>戸谷 好美<br>山田 真亜子                         | 東京女子大学<br>東京女子大学<br>東京女子大学<br>東京女子大学<br>東京女子大学                          |
| 1006 | 恋人支配欲求尺度の作成と信頼性・妥当性の検討  | ○荒井 崇史<br>金政 祐司  | 東北大学<br>追手門学院大学   |
| 1007 | 恋愛へのネガティブな態度が「出会い」場面での異性との関わりに与える影響                               | ○谷口 淳一<br>相馬 敏彦<br>西村 太志<br>金政 祐司<br>鬼頭 美江<br>山田 順子<br>宮川 裕基<br>李 韻涵 | 帝塚山大学<br>広島大学<br>広島国際大学<br>追手門学院大学<br>明治学院大学<br>玉川大学<br>追手門学院大学<br>広島大学 |
| 1008 | 育児参加に積極的な態度は異性としての魅力を高めるか？<br>将来の子育てに対する態度の情報が男性の配偶魅力に及ぼす影響       | ○天野 陽一   | 東京都立大学  |
| 1009 | 情報収集の行動と社会的スキルの関係   | ○石川 真  | 上越教育大学  |
| 1010 | 子育てに関するTMS尺度作成の試み   | ○西村 太志<br>古谷 嘉一郎<br>相馬 敏彦  | 広島国際大学<br>北海学園大学<br>広島大学  |
| 1011 | 親アイデンティティが育児ストレスと子を介した夫婦の関係性評価に及ぼす影響<br>一夫婦のペアデータを用いたAPIM分析による検討一 | ○山下 倫実<br>加藤 陽子<br>石田 有理<br>布施 晴美                                    | 十文字学園女子大学<br>十文字学園女子大学<br>十文字学園女子大学<br>十文字学園女子大学                        |

## 11 Web発表

## ソーシャルサポート・対人葛藤

- |      |   |  |  |
|------|---|--|--|
| 1101 | ソーシャルサポートと健康リスク情報の受容との関連<br>スマートフォンの過剰使用に関する健康リスク情報を用いた検討 | ○下田 俊介<br>下田 麻衣  | 東洋大学<br>立正大学   |
| 1102 | 学生の主観的ソーシャル・キャピタルとストレス対処力の影響関係：4年間の縦断調査による検討              | ○芳賀 道匡<br>岩本 里美<br>辻 大士<br>笹川 修<br>小平 英志<br>中村 信次<br>山崎 喜比古<br>近藤 克則 | 日本大学<br>千葉大学<br>筑波大学<br>日本福祉大学<br>日本福祉大学<br>日本福祉大学<br>日本福祉大学<br>千葉大学 |
| 1103 | 対人葛藤頻度が暴食傾向に及ぼす効果の検討<br>特性的所属欲求の調整効果と精神的健康の媒介効果           | ○金子 迪大<br>野村 理朗  | 京都大学・日本学術振興会<br>京都大学   |
| 1104 | ゆるせなさに与える時期と出来事の影響 (1)                                    | ○沼田 真美<br>小浜 駿   | 大妻女子大学<br>宇都宮共和大学  |
| 1105 | ゆるせなさに与える時期と出来事の影響 (2)                                    | ○小浜 駿<br>沼田 真美   | 宇都宮共和大学<br>大妻女子大学  |
| 1106 | 対人過程における視点取得<br>視点取得と葛藤                                   | ○井奥 智大<br>綿村 英一郎   | 大阪大学<br>大阪大学   |

## 12 Web発表

## 集団・社会的アイデンティティ

- |      |   |                                    |                                     |
|------|---|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1201 | 弱い紐帯を含むパーソナルネットワークの構造                               | ○平島 太郎<br>五十嵐 祐                    | 愛知淑徳大学<br>名古屋大学・メルボルン大学             |
| 1202 | 集団での協同課題場面における集団評価と自己評価との関連                         | ○大塚 あかり<br>加藤 弘通                   | 神戸大学<br>北海道大学                       |
| 1203 | 流動性と貢献能力の格差が協力行動に及ぼす影響<br>社会的ジレンマ状況を用いたインターネット実験    | ○仲間 大輔<br>村本 由紀子                   | 東京大学・(株)リクルートマネジメントソリューションズ<br>東京大学 |
| 1204 | リスク下における適応的な学習バイアスの進化：<br>強化学習エージェントによる理論的検討        | ○本間 祥吾<br>竹澤 正哲                    | 北海道大学<br>北海道大学                      |
| 1205 | 規範内面化形質と向社会的な規範の共進化                                 | ○貴堂 雄太<br>竹澤 正哲                    | 北海道大学<br>北海道大学                      |
| 1206 | 景気と集団資源可変性が内集団の広さに及ぼす影響                             | ○竹部 成崇<br>中島 健一郎                   | 大妻女子大学<br>広島大学                      |
| 1207 | 集団を越えた協力行動は、集団内の評判を低下させる<br>のか？<br>普遍主義者と集団主義者の評判比較 | ○館石 和香葉<br>高橋 伸幸                   | 北海道大学・日本学術振興会<br>北海道大学              |
| 1208 | 成員間の異質性／同質性がコミュニケーションをとおし<br>て社会的アイデンティティに及ぼす影響     | ○垂澤 由美子<br>金子 優香<br>古家後 萌<br>田宮 有彩 | 甲南女子大学<br>PwC 京都監査法人<br>朝日エティック(株)  |
| 1209 | 集団間比較を伴わない集団所属による自己評価の高<br>揚                        | ○赤須 大典                             | 久留米大学                               |

## 13 Web発表

## 社会的交換・社会的ジレンマ

- |      |   |   |  |
|------|---|---|--|
| 1301 | 一般的信頼と向社会行動の関連におけるオキシトシンの調整効果                     | ○寿 秋露<br>高岸 治人                                    | 玉川大学<br>玉川大学                                   |
| 1302 | 向社会行動における意思決定過程の個人差の検討                            | ○保坂 太志<br>田中 大貴<br>四本 裕子<br>鮫島 和行<br>高岸 治人        | 東京大学<br>玉川大学<br>東京大学<br>玉川大学<br>玉川大学           |
| 1303 | 熟慮的な向社会行動を支える脳機能ネットワーク                            | ○高岸 治人<br>田中 大貴<br>松田 哲也                          | 玉川大学<br>玉川大学<br>玉川大学                           |
| 1304 | 社会的価値志向性が資源提供相手選択時の情報探索に及ぼす効果<br>相手選択型贈与ゲームを用いた検討 | ○井上 裕香子<br>清成 透子                                  | 高知工科大学<br>青山学院大学                               |
| 1305 | 社会的価値志向性が繰り返しのある状況下で他者評価に及ぼす影響                    | ○Xiuyi Zhai<br>長谷川 拓実<br>井上 裕香子<br>松本 良恵<br>清成 透子 | 青山学院大学<br>青山学院大学<br>高知工科大学<br>西南学院大学<br>青山学院大学 |
| 1306 | 思春期から成人期後期にかけての向社会行動の発達                           | ○山田 順子<br>寿 秋露<br>松田 哲也<br>高岸 治人                  | 玉川大学<br>玉川大学<br>玉川大学<br>玉川大学                   |
| 1307 | 他者との協働・同期行動が集団内協力に及ぼす影響                           | ○松本 良恵<br>井上 裕香子<br>清成 透子                         | 西南学院大学・玉川大学<br>高知工科大学<br>青山学院大学                |

## 14 Web発表

---

 集団内過程・集団の意思決定

- |      |  |  |   |
|------|--|--|---|
| 1401 | 歩み寄り, 極性化, 分断<br>意見間距離を導入した社会的影響モデル              | ○高木 英至   | 埼玉大学  |
| 1402 | 職場におけるチーム内連携欲求と会議内の対話の特徴<br>及び成果の関係評価            | ○田中 理菜<br>沼田 崇志                                  | (株)日立コンサルティング<br>(株)日立製作所   |
| 1403 | 名声型リーダーと集団の探索的活動                                 | ○伊藤 篤希<br>内田 由紀子<br>Matthias Gobel<br>Ayse Uskul | 京都大学・University of Kent・日本学術振興会<br>京都大学<br>University of Exeter<br>University of Kent |
| 1404 | 社会的ジレンマにおける利他的メンバーに対する受容<br>的態度に関係流動性が及ぼす影響      | ○齋藤 治道<br>磯部 智加衣                                 | 千葉大学<br>千葉大学  |
| 1405 | Speed-accuracy tradeoff 状況下で社会情報はどのように<br>処理されるか | ○黒田 起吏<br>伊藤 真利子<br>大槻 久<br>亀田 達也                | 東京大学・日本学術振興会<br>立教大学<br>総合研究大学院大学<br>東京大学   |
| 1406 | 集団での情報探索は、探索の効率性と環境の全体構<br>造に関するメタ知識を同時に向上させうるか? | ○内藤 碧<br>亀田 達也                                   | 東京大学・日本学術振興会<br>東京大学  |

## 15 Web発表

---

### 集団間関係

- |      |                                |  |  |
|------|--------------------------------|--|--|
| 1501 | 自他の社会的地位が虚偽情報による態度の修正に及ぼす影響    | ○高野 了太<br>野村 理朗                                    | 京都大学・日本学術振興会<br>京都大学                                 |
| 1502 | 政府の謝罪への支持と自律神経系活動の関連の検討        | ○日道 俊之<br>三船 恒裕<br>稲増 一憲<br>大坪 庸介<br>小浜 祥子<br>多湖 淳 | 高知工科大学<br>高知工科大学<br>関西学院大学<br>神戸大学<br>北海道大学<br>早稲田大学 |
| 1503 | 反移民的態度の規定要因としてのZero-Sum Belief | ○柏原 宗一郎<br>清水 裕士                                   | 関西学院大学<br>関西学院大学                                     |



## 16 Web発表

## 組織・産業・キャリア発達

- |      |   |  |  |
|------|---|--|--|
| 1601 | 緊急時に選択されるリーダーの行動のジェンダー差   | ○小久保 みどり   | 立命館大学  |
| 1602 | 組織アイデンティフィケーションはいつ非倫理的向組織行動をもたらすのか<br>— パーソナルネットワークの視点から —        | ○梁 庭昌<br>王 海晴<br>相馬 敏彦                                   | 広島大学<br>広島大学<br>広島大学                                 |
| 1603 | 上司はLeast Preferred Coworkerにどう接しているか<br>— ネガティブ・フィードバックの提供に着目して — | ○繁樹 江里   | 青山学院大学   |
| 1604 | オフィス内外の働く場所の選択肢とセルフリーダーシップの関係                                     | ○正木 郁太郎<br>谷口 美虎人<br>森田 舞                                | 東京大学<br>(株)オカムラ<br>(株)オカムラ                           |
| 1605 | 組織コミットメントの要素間の交互作用効果<br>— 存続的要素が行動に及ぼす否定的影響に対する内在化要素の緩和効果 —       | ○高木 浩人   | 愛知学院大学   |
| 1606 | 従業員の自尊感情の3要因<br>— 組織内自尊感情, 一般本来感, 一般優越感が職務動機に与える影響 —              | ○向日 恒喜   | 中京大学   |
| 1607 | 死の顕現化が原子力発電のリスク認知に及ぼす影響   | ○辻川 典文   | 神戸親和女子大学   |
| 1608 | 人工知能による助言と自己決定<br>— 就職活動を題材とした場面想定実験 —                            | ○谷辺 哲史<br>唐沢 かおり   | 東京大学<br>東京大学   |
| 1609 | 職場内のオンライン飲み会の評価と工夫<br>— テレワークが社内コミュニケーションに与える影響 (4) —             | ○松井 豊<br>原 恵子<br>藤 桂<br>御手洗 尚樹<br>福林 直<br>中村 准子<br>岡田 昌毅 | 筑波大学<br>筑波大学<br>筑波大学<br>筑波大学<br>筑波大学<br>筑波大学<br>筑波大学 |
| 1610 | 業務の多忙化によるキャリア危機でのキャリアレジリエンスの働き<br>— 職務内容満足に着目して —                 | ○児玉 真樹子  | 広島大学   |
| 1611 | 若年就労者の職場適応を規定する在学中の要因 (7)<br>— 就職活動中のストレスと自己成長感が入職後の職場適応に及ぼす影響 —  | ○風間 文明<br>山下 倫実  | 十文字学園女子大学<br>十文字学園女子大学                               |
| 1612 | 子育て期における高学歴女性の職務満足への影響要因の検討<br>— インポスター意識との関連を中心に —               | ○新井 範子<br>細萱 伸子<br>竹内 (野木森) 明香                           | 上智大学<br>上智大学<br>上智大学                                 |

## 17 Web発表

## コミュニケーション

- |      |  |   |  |
|------|--|---|--|
| 1701 | VRはコミュニケーションの質を高めるか？<br>企業の1 on 1ミーティング場面における実証的検討                   | ○原 惇一郎<br>鈴木 昂<br>長倉 由佳<br>谷辺 哲史<br>飯田 倫崇<br>唐沢 かおり         | 東京大学<br>東京大学<br>東京大学<br>東京大学<br>(株)電通国際情報サービス<br>東京大学  |
| 1702 | ソーシャルメディアにおける災害コミュニケーションの特徴  | ○鄭 佳琪   | 一橋大学   |
| 1703 | 他者のプライバシー意識とTwitter上での他者情報公開との関連<br>Twitter上での他者のプライバシー懸念を媒介するモデルの検証 | ○太幡 直也<br>佐藤 広英   | 愛知学院大学<br>信州大学   |
| 1704 | 研究者の社会的課題への関心と共創的活動  | ○鈴木 万希枝   | 東京工科大学   |
| 1705 | 壮年期世代のペット喪失感情について (2)<br>—喪失からの人格的成長、こころの再建について—                     | ○松田 光恵  | くらしき作陽大学   |
| 1706 | 承認欲求に基づくネット依存傾向と自意識、他者からの評価の関連                                       | ○黒川 雅幸<br>三島 浩路<br>浜村 俊傑<br>小西 達也<br>永田 雅俊<br>本庄 勝<br>米山 暁夫 | 愛知教育大学<br>中部大学<br>(株)KDDI総合研究所<br>(株)KDDI総合研究所<br>(株)KDDI総合研究所<br>(株)KDDI総合研究所<br>(株)KDDI総合研究所 |
| 1707 | 自尊心と思いやり目標と自己イメージ目標が安心さがしツイートに及ぼす影響 (2)<br>—2つの安心さがしツイートに関する分析—      | ○長谷川 孝治<br>古里 由香里   | 駒澤大学<br>立教大学   |
| 1708 | 感染症流行期の「自粛」関連SNS投稿に表出された恐怖感情<br>Twitter投稿の計量テキスト分析                   | ○樋口 浩一  | 放送大学   |
| 1709 | オンライン情報のカスタマイズ志向<br>—情報への選択的接触の要因—                                   | ○李 津娥   | 慶應義塾大学   |
| 1710 | 子どものデジタルゲーム利用と適応<br>3歳から小学3年生までの保護者を対象としたweb縦断調査                     | ○田島 祥<br>松尾 由美<br>鄭 姝<br>堀内 由樹子<br>寺本 水羽<br>坂元 章            | 東海大学<br>江戸川大学<br>お茶の水女子大学<br>お茶の水女子大学<br>お茶の水女子大学<br>お茶の水女子大学                                  |
| 1711 | テレビ視聴と障がい者への態度との関連性  | ○渋谷 明子<br>星野 一徳   | 創価大学<br>創価大学   |
| 1712 | メディア利用と日本人意識 (1)<br>改元関連行事の中継視聴と皇室に対する態度との関係                         | ○藤井 達也<br>有馬 明恵<br>志岐 裕子<br>山下 玲子                           | 武蔵大学<br>東京女子大学<br>慶應義塾大学<br>東京経済大学   |

Web発表 17

- |      |  |                                   |                                    |
|------|--|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1713 | メディア利用と日本人意識 (2)<br>退位・即位関連行事の中継視聴と日本人意識・コスモポリタニズム意識との関係 | ○有馬 明恵<br>藤井 達也<br>志岐 裕子<br>山下 玲子 | 東京女子大学<br>武蔵大学<br>慶應義塾大学<br>東京経済大学 |
| 1714 | メディア利用と日本人意識 (3)<br>日本ネタ番組視聴と日本人意識・コスモポリタニズム意識との関係       | ○志岐 裕子<br>有馬 明恵<br>藤井 達也<br>山下 玲子 | 慶應義塾大学<br>東京女子大学<br>武蔵大学<br>東京経済大学 |
| 1716 | 情報通信機器への愛着がフェイクニュース警告タグに与える影響                            | ○竇 雪<br>陳 晗                       | 立命館大学<br>立命館大学                     |
| 1717 | 放射性物質による食品の安全性に対する態度<br>東日本大震災被災者の情報収集と感染症脆弱意識との関連性      | ○横山 智哉<br>河村 和徳                   | 金沢大学<br>東北大学                       |

## 18 Web発表

## 消費・ライフスタイル

- |      |  |                                   |  |
|------|--|-----------------------------------|--|
| 1801 | 「中古品」と「新品」のイメージ比較                                  | ○中島 誠<br>矢崎 裕美子                   | 名古屋学院大学<br>日本福祉大学  |
| 1802 | 購買時眼球運動と意思決定過程の検討<br>—画像解析と共分散構造分析を用いて—            | ○川杉 桂太<br>村上 始<br>竹村 和久           | 早稲田大学<br>早稲田大学・日本学術振興会<br>早稲田大学                          |
| 1803 | 非計画購買が適応的な気晴らしとしてその後のパフォーマンスに及ぼす影響                 | ○前田 洋光<br>大石 紗希                   | 京都橘大学<br>京都橘大学   |
| 1804 | モバイル利用のライフスタイル研究 (1)<br>—人間関係意識の時系列的考察—            | ○吉良 文夫<br>鮑戸 弘                    | NTTドコモ モバイル社会研究所<br>東京大学                                 |
| 1805 | モバイル利用のライフスタイル研究 (2)<br>—保護者の介入スタイルと小中学生のICT利用の関係— | ○栗原 俊介<br>吉良 文夫<br>菅原 ますみ<br>鮑戸 弘 | NTTドコモ モバイル社会研究所<br>NTTドコモ モバイル社会研究所<br>お茶の水女子大学<br>東京大学 |
| 1806 | モバイル利用のライフスタイル研究 (3)<br>—プライバシーパラドックスに関する研究—       | ○松本 卓<br>鮑戸 弘                     | NTTドコモ モバイル社会研究所<br>東京大学                                 |
| 1807 | モバイル利用のライフスタイル研究 (4)<br>—ビッグデータ利用意識と生活意識変化—        | ○佐藤 仁<br>鮑戸 弘                     | NTTドコモ モバイル社会研究所<br>東京大学                                 |
| 1808 | 懐疑か冷笑か<br>公募型 Web 調査における SKEP 尺度の妥当性について           | ○山田 一成                            | 東洋大学   |

## 19 Web 発表

## 政治行動・政治意識

- |      |  |  |  |
|------|--|--|--|
| 1901 | 撤回困難な国際融和イニシアティブの有効性の検討                                    | ○大坪 庸介<br>稲増 一憲<br>小浜 祥子<br>日道 俊之<br>三船 恒裕<br>多湖 淳 | 神戸大学<br>関西学院大学<br>北海道大学<br>高知工科大学<br>高知工科大学<br>早稲田大学 |
| 1902 | 日本の政治文脈に対するシステム正当化理論の適用性と<br>その頑健性<br>割り当て法を採用したweb調査による検討 | ○中越 みずき<br>稲増 一憲                                   | 関西学院大学<br>関西学院大学                                     |
| 1903 | 日本人のナショナル・アイデンティティの構造とその影<br>響                             | ○佐久間 勲   | 文教大学   |
| 1904 | 震災追悼式の継続・震災遺構の保存の阻害要因<br>2020年福島県民に対する政治意識調査の分析            | ○岡田 陽介<br>河村 和徳                                    | 拓殖大学<br>東北大学   |
| 1905 | ミニ・パブリックス型熟議に対する参加者の評価の質的<br>分析                            | ○前田 洋枝   | 南山大学   |

## 20 Web発表

## 文化

- |      |  |  |   |
|------|--|--|---|
| 2001 | ドーパミンD4受容体遺伝子多型と集団主義傾向の関連                                  | ○李 述冰<br>山田 順子<br>仁科 国之<br>高橋 英彦<br>村山 美穂<br>高岸 治人 | 玉川大学<br>玉川大学<br>高知工科大学<br>東京医科歯科大学<br>京都大学<br>玉川大学  |
| 2002 | 認知順序理論 (Cognitive Order Theory) :<br>ズームイン/ズームアウト型言語と認知的選好 | ○杉谷 陽子<br>外川 拓<br>唐沢 穰                             | 上智大学<br>上智大学<br>名古屋大学                               |
| 2003 | 教育による忠実な文化伝達が累積的文化進化を促進する条件:<br>複数ゴール探索課題を用いた検討            | ○中田 星矢<br>竹澤 正哲                                    | 北海道大学・日本学術振興会<br>北海道大学                              |
| 2004 | 非公式社会的統制尺度の検討<br>一日米における測定不変性と心理測定学的特性一                    | ○浅野 良輔<br>伊藤 健一<br>一言 英文                           | 久留米大学<br>Nanyang Technological University<br>関西学院大学 |
| 2005 | 階層ベイズモデルとガウス過程回帰を用いたゴルトン問題へのアプローチ:<br>環境の厳しさと規範の厳格さの関係の再分析 | ○行平 大樹<br>竹澤 正哲                                    | 北海道大学<br>北海道大学                                      |
| 2006 | 機械学習による日中の社会的態度の探索的比較                                      | ○Kongmeng Liew<br>内田 由紀子                           | 京都大学<br>京都大学  |
| 2007 | 制御適合は弁明効果に寄与するか<br>メッセージ・フレームによる制御適合効果の日米比較                | ○島田 拓司   | 天理大学  |
| 2008 | 文化的自己観と集団間相互作用場面における予測エラー学習                                | ○中村 昌弘   | 名古屋大学   |
| 2009 | 党派的な選択的接触の日米差  | ○小林 哲郎<br>劉 凌                                      | 香港城市大学<br>早稲田大学                                     |
| 2010 | 面子意識と関係流動性の関係に関する日中比較                                      | ○林 萍萍<br>菅原 大地                                     | 神戸大学<br>筑波大学  |
| 2011 | 協調的幸福感の要因としての対人ネットワークの質<br>一日本とフィリピンにおけるパネル調査を用いて一         | ○一言 英文<br>Jesus Alfonso D. Datu                    | 関西学院大学<br>The Education University of Hong Kong     |
| 2012 | 留学生の言語適応が内外集団の非人間化に与える影響                                   | ○塚本 早織<br>Christina Brown                          | 愛知学院大学<br>Arcadia University                        |
| 2013 | 中国文化SSTプログラムは在中国日本人留学生の中国文化スキルを促進できるか?                     | ○毛 新華<br>木村 昌紀<br>胡 金生                             | 神戸学院大学<br>神戸女学院大学<br>遼寧師範大学                         |
| 2014 | 日本人の異文化拒否と受容の境界線に関する心理学的研究                                 | ○張 冰<br>西田 公昭<br>木村 真利子                            | 立正大学<br>立正大学<br>立正大学                                |

## 21 Web発表

## 社会問題・社会病理

- |      |   |  |   |
|------|---|--|---|
| 2101 | COVID-19 パンデミック下における行動免疫データ<br>日本、米国、英国、伊国、中国における Web 調査                  | ○平石 界<br>三浦 麻子<br>中西 大輔<br>Andrea Ortolani<br>三船 恒裕<br>李 楊 | 慶應義塾大学<br>大阪大学<br>広島修道大学<br>慶應義塾大学<br>高知工科大学<br>名古屋大学 |
| 2102 | 新型コロナウイルス感染禍に対する態度の国際比較<br>「自業自得」「自粛警察」は日本にユニークなのか                        | ○三浦 麻子<br>平石 界<br>中西 大輔<br>Andrea Ortolani                 | 大阪大学<br>慶應義塾大学<br>広島修道大学<br>慶應義塾大学                    |
| 2103 | 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 拡大の脅威<br>に伴う感染予防行動と外国人への排斥的態度の変化<br>7波パネル調査に基づく検討 | ○山縣 芽生<br>寺口 司<br>三浦 麻子                                    | 大阪大学<br>大阪大学<br>大阪大学                                  |
| 2104 | 運動部員への非人間化が体罰の正当化に及ぼす影響<br>IATを用いた検討                                      | ○寺口 司<br>大工 泰裕<br>内田 遼介<br>中妻 拓也                           | 大阪大学<br>大阪大学<br>流通科学大学<br>立命館大学                       |
| 2105 | 非組織性迷惑行為に対する態度に新型コロナ関連の<br>不安が及ぼす影響                                       | ○礮部 智加衣<br>古川 善也<br>相馬 敏彦                                  | 千葉大学<br>広島大学<br>広島大学                                  |
| 2106 | コロナ流行下の救急活動がもたらす不安やストレスの探<br>索的検討<br>コロナ禍における救急隊員のストレス (1)                | ○秋本 陽子<br>畑中 美穂<br>松井 豊                                    | 東京消防庁<br>名城大学<br>筑波大学                                 |
| 2107 | 地域別にみた新型コロナ流行下の救急活動<br>コロナ禍における救急隊員のストレス (2)                              | ○畑中 美穂<br>秋本 陽子<br>松井 豊                                    | 名城大学<br>東京消防庁<br>筑波大学                                 |
| 2108 | 自撮り投稿は心理的問題と結びつくか<br>自撮り熱中と抑うつ・孤独感・自己肯定感との関連                              | ○大野 志郎   | 東京大学  |
| 2109 | 所得格差情報の内容が多面的正当化に及ぼす効果の<br>検討   | ○川嶋 伸佳   | 神奈川大学   |
| 2110 | 事故回避不能状況における判断と社会考慮との関連   | ○北折 充隆<br>吉武 久美  | 金城学院大学<br>人間環境大学                                      |
| 2111 | 公正世界信念が原子力災害における被災者支援に及<br>ぼす影響   | ○加藤 聖子<br>坂田 桐子  | 広島大学<br>広島大学  |
| 2112 | NIMBY 施設に関わる住民協議会の雰囲気住民の協<br>議参加意欲に与える影響                                  | ○青木 俊明<br>奥山 智天  | 東北大学<br>東北大学  |
| 2113 | 子育てバーンアウトとデモグラフィック変数の関連<br>日本人データをもとにした検討                                 | ○古谷 嘉一郎<br>アリマルダニ マリアム<br>中島 健一郎                           | 北海学園大学<br>Tilburg University<br>広島大学                  |
| 2114 | コロナ禍における大学生のストレス  | ○橋本 剛  | 静岡大学  |

Web発表 21

- |      |   |   |   |
|------|---|---|---|
| 2115 | COVID-19パンデミック危機下における日本人の人生満足度：<br>人口統計学的・状況的・幸福度の要因の分析 | ○バク ジュナ<br>谷口 尚子<br>アカリースキー               | 名古屋商科大学<br>慶應義塾大学<br>ブラーメン<br>慶應義塾大学          |
| 2116 | 新型コロナウイルスに対する感染予防行動生起にあたる脅威性認知の影響について                   | ○平井 啓<br>山村 麻子<br>金子 茉央<br>藤野 遼平<br>三浦 麻子 | 大阪大学<br>関西福祉科学大学・大阪大学<br>大阪大学<br>大阪大学<br>大阪大学 |



## 22 Web発表

## ジェンダー・高齢者

2201	FTMとMTFに対するイメージ尺度開発の試み	○陳 曦 守谷 順 脇田 貴文	関西大学 関西大学 関西大学
2202	結婚・出産時の転退職は自分で決めました 自己決定の知覚と人生満足度	○森永 康子 平川 真 福留 広大	広島大学 広島大学 福山大学
2203	好意的性差別経験が女性の状態自尊心に及ぼす影響 —縦断調査による検討—	○坂田 桐子	広島大学
2204	家族形態の地域特性が結婚観及び性役割観に与える 影響	○林 静雯 清水 裕士	関西学院大学 関西学院大学
2205	自己の単一側面に関する事象の発生と自己複雑性の 関連 中高年者のパネルデータを用いた検討	○中原 純	中京大学

## 23 Web発表

---

### 犯罪・いじめ

- |      |   |   |   |
|------|---|---|---|
| 2301 | 社会化エージェントの多層的影響に関する研究 (30)<br>—エージェント潜在クラスが中学生の反社会性に及ぼす因果的影響の再分析— | ○吉澤 寛之<br>吉田 琢哉<br>原田 知佳<br>浅野 良輔<br>玉井 颯一<br>吉田 俊和 | 岐阜大学<br>岐阜聖徳学園大学<br>名城大学<br>久留米大学<br>高知工科大学<br>岐阜聖徳学園大学 |
| 2302 | 学生はなぜ質問しないのか？<br>多元的無知と私的自意識に着目して                                 | ○秋保 亮太  | 大阪大学  |
| 2303 | 新聞記事を対象とした「いじり」の言説分析<br>「いじめ」を容認する言説構造の検討                         | ○ハッ塚 一郎   | 熊本大学  |
| 2304 | 「教員間いじめ」を目撃した場合における報告頻度の規定因<br>「いじめ」を受けた教員は他者の「いじめ」を報告するのか？       | ○出口 拓彦  | 奈良教育大学  |

## 24 Web発表

## 安全・防災・コミュニティ

- |      |  |                                |                                     |
|------|--|--------------------------------|-------------------------------------|
| 2401 | 防災における動機づけの質と行動の関係   | ○豊沢 純子<br>竹橋 洋毅<br>島井 哲志       | 大阪教育大学<br>奈良女子大学<br>関西福祉科学大学        |
| 2402 | 避難勧告ナッジが受け手に働きかける影響力の性質  | ○田中 里奈<br>竹橋 洋毅<br>豊沢 純子       | 奈良女子大学<br>大阪教育大学                    |
| 2403 | 避難情報の伝達は避難情報に対する当事者性を高めるか<br>“Saying is believing (SIB)” 効果の検討 | ○福光 直美<br>相馬 敏彦<br>梁 庭昌<br>林 釗 | 広島大学<br>広島大学<br>広島大学<br>福岡工業大学短期大学部 |
| 2404 | 復興期における被災自治体職員のストレス対策 (2)<br>被災後の勤務の苦労とストレスとの関係                | ○高橋 幸子<br>松井 豊                 | 専修大学・地方公務員安全衛生推進協会<br>筑波大学          |
| 2405 | 脅威と連動する対策<br>火災・消防統計の時系列分析                                     | ○竹村 幸祐<br>清水 裕士                | 滋賀大学<br>関西学院大学                      |
| 2406 | 地方回帰型移住の心理的モデルの検討<br>沖縄の移住者を対象としたインタビューから                      | ○加藤 潤三<br>前村 奈央佳               | 立命館大学<br>神戸市外国語大学                   |
| 2407 | 地域芸術祭におけるボランティア活動の心理過程<br>大地の芸術祭サポーターに対するインタビューの内容分析           | ○佐々木 美加                        | 明治大学                                |
| 2408 | 防犯ボランティア団体の活動継続の規定因<br>支援の内容と主体による差異                           | ○島田 貴仁<br>讃井 知                 | 科学警察研究所<br>筑波大学                     |

発表者索引

発表者索引

(太数字は責任発表者)

**B**

Brown, Christina 2012

**C**

Chen, Jiayu **803**

**D**

Datu, Jesus 2011

**G**

Gobel, Matthias 1403

**H**

Hirashima, Taro 412

**I**

Igarashi, Tasuku **412** 803

**L**

Liew, Kongmeng **2006**

**O**

Ortolani, Andrea 2101 2102

**T**

Takemura, Kazuhisa **103**

**U**

Uskul, Ayse 1403

**Y**

Young, Maia 604

**Z**

Zhai, Xiuyi **1305**

あ

相川 充 202

青木 俊明 **2112**

赤石 れい WS02

赤須 大典 **1209**

アカリースキー プラーメン 2115

秋保 亮太 **2302**

秋本 陽子 **2106** 2107

飽戸 弘 1804 1805 1806 1807

浅野 良輔 **2004** 2301

安達 啓介 401

安達 澄乃 406

安達 未来 **401**

安達 悠子 **904**

安部 健太 **901**

阿部 晋吾 **210**

阿部 夏希 205

阿部 修士 409

天野 陽一 **1008**

荒井 崇史 **1006**

新井 範子 **1612**

有馬 明恵 1712 **1713** 1714

アリマルダニ マリアム 2113

安念 保昌 **211**

い

李 受珉 205

李 津娥 **1709**

飯田 倫崇 1701

井梅 由美子 709

井奥 智大 **1106**

五十嵐 祐 1201

池内 裕美 **301**

池田 亜紗 **902**

池田 利基 **302**

池田 浩 802

石井 国雄 505

石井 敬子 **404**

石川 真 **1009**

石黒 格 **805**

石田 有理 1011

磯崎 三喜年 902

磯部 智加衣 1404 **2105**

伊藤 雅月 1005

伊藤 篤希 **1403**

伊藤 健一 2004

伊藤 忠弘 SY01

伊藤 真利子 1405

稲垣 勉 **202**

稲増 一憲 1502 1901 1902

井上 萌恵美 406

井上 裕香子 **1304** 1305 1307

今城 志保 **708**

岩熊 史朗 **501**

岩本 里美 1102

う

上田 臯介 **207**

上原 秀斗 **802**

内田 由紀子 1403 2006

内田 遼介 2104

浦 光博 WS01

浦川 麻緒里 807

え

遠藤 健治 **208**

お

王 海晴 1602

大石 紗希 1803

大塚 あかり **1202**

大槻 久 1405

大坪 庸介 1502 **1901**

大沼 進 613 **614**

大野 志郎 **2108**

大橋 恵 **709**

岡 隆 706

岡田 努 **212**

岡田 昌毅 1609

岡田 陽介 **1904**

奥山 智天 2112

尾崎 拓 611

尾崎 由佳 303

長田 真人 **101**

尾関 美喜 **808**

尾田 遥 406

か

笠羽 涼子 309

笠原 伊織 **411**

風間 文明 **1611**

柏原 宗一郎 **1503**

加藤 陽子 1011

加藤 樹里 **407**

加藤 潤三 **2406**

加藤 仁 **601**

加藤 聖子 **2111**

加藤 弘通 1202

金子 茉央 2116

金子 迪大 **1103**

金子 優香 1208

金政 祐司 1006 1007

亀田 達也 1405 1406

唐沢 かおり WS01 503 504 1608 1701

唐沢 穰 411 2002

川寄 郁奈 406

川嶋 伸佳 **2109**

川杉 桂太 **1802**

川角 公乃 **402**

河村 和徳 1717 1904

神原 歩 **804**

き

菊地 学 512 **513** 514

木田 万柚子 1005

北折 充隆 **2110**

北村 英哉 **710**

鬼頭 美江 1007

貴堂 雄太 **1205**

木村 惇希 906

木村 昌紀 **810** 2013

木村 真利子 2014

清河 幸子 207

清成 透子 1304 1305 1307

吉良 文夫 **1804** 1805

く

楠見 孝 **1002**

久保 里奈 406

熊井 優日 **304**

栗林 克匡 **1001**

栗原 俊介 **1805**

黒川 雅幸 **1706**

黒田 起吏 **1405**

こ

胡 金生 2013

小池 はるか **311**

小久保 みどり **1601**

小平 英志 1102

児玉 真樹子 **1610**

後藤 崇志 **306** 511

小西 達也 1706

小浜 駿 1104 **1105**

小浜 祥子 1502 1901

小林 傳司 WS01

小林 知博 **506**

小林 哲郎 **2009**

小森 めぐみ **607** 608 609 610

古家後 萌 1208

近藤 克則 1102

さ

齋藤 治道 **1404**

発表者索引

坂田 桐子	2111 <b>2203</b>	高岸 治人	WS02 801 1301 1302	友田 明美	309
坂元 章	1710		<b>1303</b> 1306 2001	戸谷 彰宏	<b>705</b>
佐久間 勲	<b>1903</b>	高田 咲季	<b>511</b>	戸谷 好美	1005
笹川 修	1102	高田 治樹	<b>512</b> 513 514	外山 みどり	SY01
佐々木 愛花梨		高野 了太	<b>1501</b>	豊沢 純子	303 <b>2401</b> 2402
	406	高橋 幸子	<b>2404</b>	な	
佐々木 美加	<b>2407</b>	高橋 徹	211	内藤 碧	<b>1406</b>
佐藤 剛介	510	高橋 伸幸	1207	中井 隆介	409
佐藤 仁	<b>1807</b>	高橋 英彦	2001	中川 由理	<b>606</b>
佐藤 裕子	708	高本 真寛	<b>305</b>	長倉 由佳	1701
佐藤 広英	1703	田口 恵也	<b>811</b>	中越 みずき	<b>1902</b>
佐藤 みちる	906	竹内 (野木森) 明香	1612	中島 健一郎	205 206 502 705 711
讃井 知	2408	竹澤 正哲	403 1204 1205 2003		1206 2113
鮫島 和行	1302		2005	中島 誠	<b>1801</b>
左山 愛理	304	武田 美亜	607 <b>608</b> 609 610	中田 星矢	<b>2003</b>
澤海 崇文	202	武田 裕司	302	永田 雅俊	1706
澤田 奈々実	<b>204</b>	竹橋 洋毅	<b>303</b> 2401 2402	中妻 拓也	2104
し		竹部 成崇	<b>1206</b>	中西 大輔	2101 2102
塩谷 尚正	<b>612</b>	竹村 和久	SY01 1802	中原 純	<b>2205</b>
志岐 裕子	1712 1713 <b>1714</b>	竹村 幸祐	<b>2405</b>	仲間 大輔	<b>1203</b>
繁榊 江里	<b>1603</b>	多湖 淳	1502 1901	中村 准子	1609
重松 潤	711	田島 綾乃	<b>507</b>	中村 信次	1102
柴田 侑秀	611	田島 祥	<b>1710</b>	中村 昌弘	<b>2008</b>
渋谷 明子	<b>1711</b>	館石 和香葉	<b>1207</b>	中村 美祐希	305
島井 哲志	2401	田戸岡 好香	<b>505</b>	中谷内 一也	SY01 414 <b>611</b>
島田 浩二	309	田中 皓介	<b>603</b>	中山 満子	<b>1004</b>
島田 貴仁	<b>2408</b>	田中 大貴	<b>801</b> 1302 1303	に	
島田 拓司	<b>2007</b>	田中 里奈	303 <b>2402</b>	新井田 恵美	<b>405</b>
清水 裕士	<b>605</b> 704 1503 2204	田中 理菜	<b>1402</b>	新谷 優	203
	2405	谷口 淳一	203 <b>1007</b>	西川 一二	1002
清水 佑輔	<b>504</b>	谷口 尚子	2115	西田 公昭	2014
下田 俊介	<b>1101</b>	谷口 美虎人	1604	西谷 正太	WS02 309
下田 麻衣	1101	谷田 林士	<b>906</b>	仁科 国之	2001
寿 秋露	<b>1301</b> 1306	谷辺 哲史	<b>1608</b> 1701	西村 太志	1007 <b>1010</b>
新里 美海	810	太幡 直也	<b>1703</b>	ぬ	
す		田渕 恵	<b>1003</b>	沼田 崇志	1402
菅 さやか	<b>508</b>	玉井 颯一	408 2301	沼田 真美	<b>1104</b> 1105
菅原 大地	2010	田宮 有彩	1208	の	
菅原 ますみ	1805	垂澤 由美子	<b>1208</b>	野間 紘久	<b>711</b>
杉浦 仁美	409	ち		野村 理朗	1103 1501
杉下 亜弥香	406	鄭 妹	1710	は	
杉谷 陽子	<b>2002</b>	張 冰	<b>2014</b>	芳賀 道匡	<b>1102</b>
杉村 伸一郎	214	陳 晗	1716	パク ジュナ	<b>2115</b>
鈴木 啓太	<b>701</b>	陳 曦	<b>2201</b>	橋本 剛明	503 504
鈴木 昴	1701	つ		橋本 剛	<b>2114</b>
鈴木 公啓	<b>812</b>	塚本 早織	WS02 <b>2012</b>	橋本 博文	304 <b>509</b> 510
鈴木 万希枝	<b>1704</b>	辻 大士	1102	長谷川 孝治	<b>1707</b>
澄川 采加	202	辻川 典文	<b>1607</b>	長谷川 拓海	906
せ		土田 茜	613 614	長谷川 拓実	1305
膳場 百合子	<b>604</b>	て		畑中 美穂	2106 <b>2107</b>
そ		鄭 佳琪	<b>1702</b>	八田 紘和	409
相馬 敏彦	1007 1010 1602 2105	出口 拓彦	<b>2304</b>	服部 陽介	<b>308</b>
	2403	寺垣内 雅子	<b>206</b>	埴田 健司	607 608 <b>609</b> 610
た		寺口 司	2103 <b>2104</b>	濱田 志穂	WS01
ターン 有加里ジェシカ		寺本 水羽	1710	浜村 俊傑	1706
	<b>503</b> 504	と		早川 美歩	<b>408</b>
大工 泰裕	809 2104	寶 雪	<b>1716</b>	林 朝子	406
高木 彩	607 608 609 <b>610</b>	藤後 悦子	709	原 恵子	1609
高木 英至	<b>1401</b>	外川 拓	2002	原 惇一郎	<b>1701</b>
高木 浩人	<b>1605</b>	戸田山 和久	WS01	原田 知佳	2301

発表者索引

ひ

樋口 収 405  
 樋口 浩一 **1708**  
 一言 英文 2004 **2011**  
 日道 俊之 **1502** 1901  
 平井 啓 **2116**  
 平石 界 **2101** 2102  
 平岡 大樹 **309**  
 平川 真 **413** 2202  
 平島 太郎 **1201**  
 平野 浩 SY01 **702**  
 平松 隆円 **215**  
 ふ  
 福留 広大 2202  
 福林 直 1609  
 福光 直美 **2403**  
 藤 桂 1609  
 藤 翔平 214  
 藤井 達也 **1712** 1713 1714  
 藤澤 隆史 309  
 藤島 喜嗣 **406**  
 藤野 遼平 2116  
 藤村 直子 708  
 藤本 学 **201**  
 布施 晴美 1011  
 古川 善也 **214** 502 2105  
 古里 由香里 1707  
 古谷 嘉一郎 1010 **2113**  
 ほ  
 保坂 太志 **1302**  
 星野 一徳 1711  
 細萱 伸子 1612  
 堀内 由樹子 1710  
 堀川 佑惟 **706**  
 堀毛 一也 **213**  
 堀毛 裕子 213  
 本郷 亜維子 **806**  
 本沢 みのり 406  
 本庄 勝 1706  
 本間 祥吾 **1204**  
 ま  
 前田 楓 509 **510**  
 前田 洋枝 **1905**  
 前田 洋光 **1803**  
 前田 友吾 **307**  
 前村 奈央佳 2406  
 間賀田 悠吾 **310**  
 牧野 幸志 **905**  
 正木 郁太郎 **1604**  
 増井 啓太 **903**  
 松井 豊 SY01 **1609** 2106 2107  
 2404  
 松尾 由美 1710  
 松田 哲也 801 1303 1306  
 松田 光恵 **1705**  
 松本 卓 **1806**  
 松本 良恵 1305 **1307**  
 み  
 三浦 麻子 703 2101 **2102** 2103  
 2116

三島 浩路 1706  
 水野 景子 **704**  
 溝川 藍 408  
 御手洗 尚樹 1609  
 三船 恒裕 1502 1901 2101  
 宮川 裕基 **203** 1007  
 宮崎 弦太 **1005**  
 宮前 奈央子 **205**  
 三好 美浩 **102**  
 む  
 向居 暁 **209**  
 向日 恒喜 **1606**  
 村井 潤一郎 **809**  
 村上 幸史 **410**  
 村上 始 1802  
 村瀬 健太郎 810  
 村本 由紀子 701 1203  
 村山 綾 **703**  
 村山 美穂 2001  
 も  
 毛 新華 **2013**  
 森岡 清訓 810  
 森口 佑介 WS02  
 森田 舞 1604  
 森永 康子 **2202**  
 守谷 順 2201  
 や  
 矢崎 裕美子 1801  
 矢澤 順根 **502**  
 八ッ塚 一郎 **2303**  
 柳澤 邦昭 407 **409**  
 山縣 芽生 **2103**  
 山崎 喜比古 1102  
 山下 倫実 **1011** 1611  
 山下 玲子 1712 1713 1714  
 山田 歩 **602**  
 山田 一成 **1808**  
 山田 順子 1007 **1306** 2001  
 山田 真亜子 1005  
 山村 麻予 2116  
 ゆ  
 于 珊珊 810  
 結城 雅樹 WS02 307  
 行平 大樹 **2005**  
 尹 成秀 512 513 **514**  
 よ  
 横井 良典 **414** 611  
 横山 智哉 **1717**  
 横山 実紀 **613** 614  
 吉井 章人 810  
 吉澤 寛之 **2301**  
 吉田 阿海 807  
 吉田 琢哉 2301  
 吉田 俊和 2301  
 吉武 久美 2110  
 吉武 久美子 **807**  
 依田 尚也 402  
 四本 裕子 1302  
 米山 暁夫 1706

り

李 韻涵 1007  
 李 述水 **2001**  
 李 楊 2101  
 劉 凌 2009  
 梁 庭昌 **1602** 2403  
 林 釗 2403  
 林 静雯 **2204**  
 林 萍萍 **2010**  
 わ  
 若松 祐佳 810  
 脇田 貴文 2201  
 脇本 竜太郎 **707**  
 渡辺 舜 **403**  
 渡邊 悠莉香 406  
 綿村 英一郎 1106

日本社会心理学会第 61 回大会 賛助団体 御芳名

【広告】

株式会社誠信書房  
株式会社テキスト  
アイブリッジ株式会社  
株式会社ちとせプレス  
株式会社講談社  
株式会社北樹出版  
株式会社日本能率協会総合研究所  
株式会社有斐閣  
株式会社北大路書房  
株式会社ナカニシヤ出版  
株式会社サン・エデュケーショナル  
株式会社クロス・マーケティング

(敬称略)

大会を開催するにあたり、上記各企業・団体より多大なご支援をいただきました。  
ここにその御芳名を記して、心から感謝の意を表します。

2020 年 10 月  
日本社会心理学会第 61 回大会準備委員会

# JSSP 2020

日本社会心理学会

## 日本社会心理学会第 61 回大会 準備委員会

委員長 外山 みどり  
事務局長 伊藤 忠弘

委員 竹綱 誠一郎  
小菅 清香  
角尾 美奈  
藏本 知子  
川角 公乃  
阿久津 豪史

ロゴデザイン 宮本佳子(追手門学院大学)  
写真提供 学校法人 学習院

### 日本社会心理学会第 61 回大会プログラム

発行日 2020 年 10 月 24 日  
発行者 〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1  
学習院大学文学部心理学科  
日本社会心理学会第 61 回大会準備委員会





